



図書館報

第 224 (19-3) 号 (2019.6)

横浜女子短期大学図書館

TEL 045-835-8115 / FAX 045-835-8118

E-mail lib@yokotan.ac.jp

第1回 絵本・ブックトーク 参加者募集!

7月9日(火)に「絵本・ブックトーク」を開催します。実習で読み聞かせをして喜ばれた絵本、夏におすすめの絵本、子どもの頃に読んだ思い出の絵本などを紹介してください。どんな絵本でもかまいません。みなさんの参加をお待ちしています。

- ①当日、紹介したい絵本を用意して集まってください。
- ②一人3分程度で、好きなおとこ、おすすめ理由を紹介してください。
- ③参加者のみなさんに賞品を用意しています。

日時	2019年7月9日(火)12:40～13:00
場所	図書館2階 絵本コーナー
紹介する本	実習で読み聞かせた絵本、夏におすすめの絵本など
時間	一人3分程度(目安は約900字です)
申込み	カウンターまで



ぜひ、聞きに
来てください。

私たちの
おすすめの本です。



第1回 選書ツアーに行きました！

5月24日（金）、紀伊國屋書店（横浜そごう店）に行って本を選びました（2年生5名参加）。授業や実習に役立つ保育の本や絵本を中心に、小説などさまざまな分野の本を購入しました。新着図書コーナーに展示しますので利用してください。

なお購入に際して今回も協力会からの補助をいただきました。



楽しい本を選びました。ぜひ図書館に足を運んでください。



読書会に来てください！

『二十四の瞳』（壺井栄）は、今までに映画やテレビドラマ化されています。映画を観た人も、まだ読んでいない人も歓迎です。みなさんの参加をお待ちしています

話題にする本

第6回 7月11日（木）

壺井栄『二十四の瞳』角川文庫



時間は① 12:40～12:55、② 16:20～16:35、同一プログラムを2回行いますので、都合のつく時間帯に参加してください。いずれも図書館2F閲覧室で行います。

◆6月◆館員おすすめの本

『大久野島からのバトン』（今関信子）

原 真由美



瀬戸内海に浮かぶ大久野島は、今から 70 年前、地図から消されたことがありました。戦争のために毒ガス兵器を製造していたからです。終戦を迎えると証拠隠滅のため、施設は解体され、作業をさせられた後遺症に苦しむ多くの人だけが残されました。

高校一年生の香織は課外授業で大久野島を訪れ、少年の頃に島で働いていたという資料館の館長と出会い、埋もれた歴史と向き合い引き継ぐことを学びます。「戦争は一気に始まらない。少しずつ近づいてくる」という言葉はとても大切です。（新日本出版社）



『月の満ち欠け』（佐藤正午）

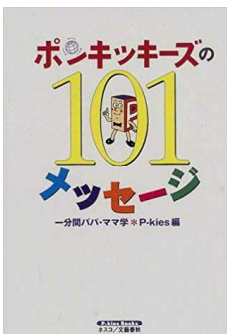
大久保美玲

ことの発端は三十余年前。三角哲彦（みすみあきひこ）は大学二年の時、年上の人妻正木瑠璃と出会い恋に落ちました。しかし出会いからわずか数か月で、瑠璃は地下鉄に轢かれて死んでしまいます。それは表向き事故でしたが、三角は自死だと信じた。なぜなら、最後に逢った時「あたしは、月のように死んで、生まれ変わる」という遺言とも取れる言葉を瑠璃は残していたため。そして生まれ変わりの物語が始まります。三角と瑠璃が出会った梅雨の季節の描写が印象的な、美しくも恐ろしい物語です。（岩波書店）



『ポンキッキーズの 101 メッセージ 一分間パパ・ママ学』（P-kies 編）

高橋 和子



皆さんおなじみのポンキッキから生まれた育児書です。平成 9 年当時、毎日番組の最後に一分間放送されたメッセージを、本にまとめたものです。掲載されている言葉は、なるほどと思うようなことや、結構当たり前だなど思うことがいわれているのですが、はっと気付かされ、すんなりと心に入ってくるから不思議です。メッセージを寄せている方たちの職業は、大学教授や登山家、絵本作家など多岐にわたっています。平成 10 年に刊行された本ですが、内容は古くなっていないのでぜひ手に取ってみてください。（ネスコ）

展示・館員おすすめの本



「花のある物語」



植物が勢いを増し新緑がまぶしい季節になりました。生命力あふれる緑や花は、私たちに生きる喜びや癒やしを与えてくれます。たまには周りを見渡して四季を感じてみませんか。花や庭によって導かれた人たち、閉ざされた心を開いた子どもたち、庭仕事がしたくなる本などを紹介します。自然のうるおいに心安らぐ時間をどうぞ。
(原真由美)



乃南アサ『六月の雪』文藝春秋 2017

台湾には、欖李花という美しい響きの花があります。6月には雪化粧をしたような白い花をつけることから「六月の雪」とも呼ばれるのだそう。幼少期を台湾で過ごした未来の祖母の思い出の花です。入院中の祖母にかわり一人思い出を辿る旅へ。花によって導かれた人達とのあたたかい出会いや懸命に生きる人、歴史を知る体験をします。

フィリップ・ピアス『トムは真夜中の庭で』岩波少年文庫 1975

古時計が13時を打ちトムが裏口のドアを開けると……昼間は存在しない美しい庭園が広がっていました。不思議な庭を訪れるうちに昔この邸宅に住んでいた少女ハティと出会い、トムは二つの時間を行き来するようになります。真夜中の庭にさす月の光、春の花が咲き乱れる庭がとてもきれい。



服部千春『花あかりともして』出版ワークス 2017

静枝の父親は、夕顔が白く光るのを見て「これを目印にして帰ってこられる。花あかりや」という言葉を残して出征。父親の無事を祈り花を植え続けますが、1941年、食料にならない農作物は育ててはいけないという「花禁止令」がありました。厳しい時代があったことを知ってほしい一冊です。



〈緑の力で元気に！〉

バーネット・土屋京子訳『秘密の花園』光文社 2007

湯本香樹実『夏の庭』新潮文庫 2001



〈花に生まれ変わった生命〉

向井愛実『いのちの花』WAVE 出版 2014

ひまわりをうえた八人のお母さん『ひまわりのおか』岩崎書店 2012



〈ちょこっとガーデニング〉

榛原昭夫『育てて愉しむ手のひら園芸』山と溪谷社 2014

斉藤吉一『ものぐさガーデニングのススメ』山海堂 2004

〈美しい庭づくり〉

ヘルマン・ヘッセ『庭仕事の愉しみ』草思社 1996

ターシャ・テューダー『最後のことば』白泉社 2009



図書館サポーターズ募集中

図書館主催の催しへの参加や、展示、図書館報の作成など図書館活動を支えてくれる**図書館サポーターズ**を募集しています。図書館や本が好きな方は、どうぞお気軽に声を掛けてください。

図書館の仕事に興味のある方もお待ちしております。

図書館カレンダー

6							7						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													



__ :休館日

平日：9:00～18:20

授業のない平日：9:00～16:45 6.5（水）・6（木）

土曜・祝日授業：9:00～15:00（閉館時間早まる場合あり）6.29（土）・7.13（土）
・15（祝）

オープンキャンパス：13:00～16:00 6.23（日）・7.28（日）

■返却日が施設実習などと重なる場合は、実習明けでかまいません。

朝、授業の前など9:00前から利用したいときは、図書館事務室に声をかけてください。8:50ごろから開館します。

お願い

はさみ、カッター、マジックなどを使って工作などしたいときは、カウンターに相談してください。

予約やリクエストの連絡に便利なアドレスの登録を！

携帯電話などで読み取って「学籍番号 氏名」を送信してください。折り返し確認のメールを送ります。登録されたアドレスは図書館からの連絡以外には使用しません。



後記

一日の学生生活の中で、図書館へ足を運ぶ時間を作り出すことは、それほど難しいことではありませんよね。ファッション雑誌を見て息抜きをしたり、映画鑑賞をしたり、友人との待ち合わせ場所に使ってもいいですよ。色々な過ごし方をどうぞ「一日一回図書館へ」、ぜひ一年間実行してみてください。（原）